



下野竜也音楽総監督就任
～広響、新時代～



Hiroshima Symphony Orchestra The 378th Subscription Concert

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第378回定期演奏会



指揮 パスカル・ロフェ
Pascal Rophé

©B Ealovega

2018. 3. 3 土

15:00開演(14:00開場)
Sat Mar 3 2018 Start 15:00 (Open 14:00)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

※当初の予定から出演者及び曲目を一部変更しています。

ラヴェル
古風なメヌエット
Ravel : Menuet Antique

プロコフィエフ
バレエ「シンデレラ」組曲第1番 Op.107
Prokofiev : Cinderella, Suite No.1 Op.107

ラヴェル
左手のためのピアノ協奏曲ニ長調
Ravel : Piano Concerto for the Left Hand in D major

ピアノ 萩原麻未
Mami Hagiwara

ラヴェル
ボレロ
Ravel : Bolero

Concertmaster 佐久間 聡一
Soichi Sakuma

チケット(税込/全席指定)

S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)


エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン
広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場・ローソンチケット(Lコード:61940)・チケットぴあ(Pコード:318-942)
中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売

チケット発売日

一般プレイガイド 2018年1月3日(水)/広響事務局 2018年1月9日(火)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

プレミアム協賛/  広島トリペット

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

お問い合わせ 広響事務局 TEL : 082-532-3080 HP : <http://hirokyo.or.jp>



©Akira Muto

広響公式ホームページ▲





©B Ealovega

〈指揮〉パスカル・ロフェ
Pascal Rophé, conductor

2014/15年シーズンからフランス国立ロワール管の音楽監督。2009年まではリエージュ・フィルの芸術監督を務めた。パリ国立音楽院を卒業後、1988年のブザンソン国際指揮者コンクールで第2位。その後1992年からブレーズやロバートソンとともにアンサンブル・アンテルコンタンポランを指揮した。レパートリーは現代音楽と18-19世紀の交響楽作品を両方扱うバランス感覚をもって、ストラヴィンスキーからブレーズ、ベートーヴェンに至る楽曲を、フィルハーモニア管、BBC響、フランス国立放送フィル、スイス・ロマン管、N響、ソウル・フィルなどと演奏している。オペラにも力を入れ、ローマ歌劇場で《タイス》、グライントポーン・ツォーリング・オペラで《ペレアスとメリザンド》、ブダペストで《さまよえるオランダ人》《カルメル派修道女の対話》、パリ・オペラ座でマントヴァーニの《アフマートヴァ》を指揮するなど、この分野でも活動は多岐にわたる。録音も多く、フランス国立放送フィルやBBC響などと共演したディスクは多くの賞を受賞し、2016年には、デュティユーの生誕100年を記念して、BISレーベルからデュティユー作品集がリリースされた。

Come and dream with us.

一緒に夢を

予定していた指揮者のヘスス・ロペス＝コボス氏が健康上の理由から降板することとなり、代わってフランス国立ロワール管弦楽団音楽監督を務めるパルカル・ロフェ氏が出演いただくこととなりました。そのロフェ氏より、以下素敵なメッセージが寄せられましたのでここでご紹介いたします。

『今回演奏するのは、とても色彩豊かなプログラムです。ラヴェルの3作品はいずれも1929～30年に作曲、またはオーケストレーションされた作品ですが、異なるスタイルの語法を用いています。「古風なメヌエット」は、バロック音楽へのトリビュート。「左手のためのピアノ協奏曲」は彼が残した作品の中で最も暗く、強いものの一つで、正真正銘の傑作です。萩原麻未さんとはラヴェルのもう一つのピアノ協奏曲で何度か共演しましたが、ラヴェルがオーケストレーションを手がけた最後の作品であるこの左手の協奏曲でも、持ち前の素晴らしいタッチを見せてくれることでしょう。「ボレロ」は音楽史の中で最も成功した作品の一つ。皆さんご存知のスペインのテーマが反復しながら増大し、聴く者の心を揺さぶります。

ラヴェルの肖像画のような3作品に加わるのは、プロコフィエフの「シンデレラ」組曲第1番。シャルル・ペローのおとぎ話がもとになった魅惑的な音楽を聴くと、皆さんの胸に子どもの頃の思い出が蘇ってくることでしょう。
“Come and dream with us.”

コンサートホールで皆さんをお迎えするのを楽しみにしています。』
パスカル・ロフェ



©Akira Muto

〈ピアノ〉萩原麻未
Mami Hagiwara, Piano

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。同コンクールのファイナルでは、今回共演するパスカル・ロフェの指揮で、スイス・ロマン管とラヴェルのピアノ協奏曲を演奏した。その後もロフェの指揮でフランス国立ロワール管や兵庫芸術文化センター管と共演を重ねている。広島市出身、5歳よりピアノを始め、広島音楽高校卒業後、文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院修士課程及び同音楽院室内楽科、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルテウム音楽院を卒業。現在、日本、フランスを中心に、スイス、ドイツ、イタリア、ベネズエラ、ベトナムなどでソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行い、広島交響楽団とも度々共演している。

広島交響楽団
第379回
定期演奏会

2018
4.15 日

広島文化学園HBGホール
15:00開演(14:00開場)

Program

モーツァルト

ピアノ協奏曲第12番イ長調

Mozart : Piano Concerto No.12 in A major, K.414(385p)

ブルックナー

交響曲第6番イ長調(原典版)

Bruckner : Symphony No.6 in A major (Original Edition)



〈指揮〉
下野 竜也



〈ピアノ〉
アンドレ・ラプラント

あなただけのマイシート!

定期全10公演

2018年度年間定期会員募集のご案内

S席/37,500円 A席/33,500円 B席/29,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間 2018年2月5日～4月13日)